

今月の特集は「東日本大震災と理学療法」です。

時の経つのは早いものです。大震災の惨状に日本中が震え、悲しみ、涙してから間もなく1年が経ちます。悲しいかな、どんな大災害でも発生したその瞬間から風化が始まります。1995年1月の阪神淡路大震災しかり、東日本大震災もまたそのようになるのでしょうか。過去の惨状とその対応を正確に伝え、教訓を残すことは、今を生きる私たちの務めでもあると思います。大震災後の混乱期から理学療法・士がどのように行動し、支援に関わってきたかをじっくりと見直すことは、次なる自然災害の備えにつながると考えて、本特集を企画することにしました。

富山論文では、震災発生1時間後にはトリアージ診療体制を整え、リハビリテーション(以下、リハ)スタッフ総動員の支援活動が入院患者だけでなく在宅酸素療法などの在宅医療対象者にも行われたこと、そして避難所でのリハ支援について具体的に紹介されています。後藤論文では、保健福祉事務所を軸にした地域リハ支援活動の経緯と、その支援活動を検証されています。氏は「情報を正確に理解する」という基本の大切さと地域のニーズを重視した支援の必要性を強調されています。金野論文では、震災後の介護老人保健施設を軸にした通所リハ、入所リハ、在宅支援の取り組みについて述べられ、また坪田論文では、宮城県理学療法士会が災害対策本部を立ち上げた経緯と運営システムが解説され、そのなかで効果的な支援を展開するには支援活動コーディネーターとロジスティックススタッフの配置がポイントだと指摘されています。関根論文では、原発事故現場から近い病院における活動内容が時系列に詳しく報告されています。避難指示による入院患者の移送、被曝事故初期治療としての安定化ヨウ素剤の配布がリハ室で行われるなどの緊迫した状況が伝わってきます。渡邊論文では、都医師会の医療救護班の活動を通して、災害初期から理学療法支援の必要性を述べられています。今なお震災支援にお忙しいなか、6氏から震災支援に関する玉稿をいただきましたこと心から御礼申し上げます。有り難うございました。

本震災は地震、津波、原発事故による3重の甚大な被害をもたらしているだけに、復興までには長期間を要するでしょうが、ネバーギブアップの精神で国民一人ひとりが支え合う心意が必要でしょう。しかしながら、2,000万トンを超えるガレキがいまだに山積み状態のままです。復興のために国が全国の各自治体に受け入れ協力を求めています。受け入れる自治体は皆無に近い状態です。少しのガレキの受け入れでも、被災された方々の励みになると思うのですが、果たして「絆」はどこに行ったのでしょうか。私たちはこれまで幾多の天災や戦災を経験しながらも、今日のような発展を遂げてきました。それには力強く困難を乗り越えきた先人たちがいたからであり、その後に続く1人でありたいと思う日々です。(鶴見隆正)

理学療法ジャーナル

(第46巻 第3号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2012年3月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

定価 1,890 円(本体 1,800 円+税 5%)

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

(担当:阿部・川上・山崎)

2012 年間購読料(税込み、配送料
弊社負担)冊子のみ 20,880 円、冊子+
電子版/個人 23,880 円、冊子+電子版/
共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、
電子版/共有 24,100 円

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷 株式会社(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 株式会社 医業広告社 (03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY < (社)出版者著作権管理機構委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 藤 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 西 夫
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 田 伸 彦
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 山 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里